

京都産業大学同窓会 宮崎県支部便り

2018(平成30)年
第11号

むす
ぶ
人

発行日 2018年1月1日
発行 京都産業大学
同窓会宮崎県支部
E-mail ksu383ki@yahoo.co.jp



ごあいさつ 宮崎県支部 支部長 佐藤 知徳

京都産業大学同窓会宮崎県支部の皆様、新年あけましておめでとうございます。



本学の記者会見

去年は報道で母校の名前を目にする機会の多い1年でした。たまたまですが、私の職場には複数の獣医師がいて、日頃、獣医師と接する機会も多いのですが、京都産業大学が、京都府綾部市に獣医学部を新設するという報道に、やはり期待するものはありました。

そこで、対抗馬として、学校法人加計(かけ)学園が運営する岡山理科大学が獣医学部を愛媛県今治市に開学するという動き。

「加計ありき」、「忖度(そんたく)」、「総理のご意向」、こんな言葉を何度目にしたかわかりません。目にするのも、耳にするのも、いい加減いやになってきましたが。

政府が提示した追加条件には、「広域的に獣医師系養成大学のない地域」「一校限り」「2018年4月開学」。国会答弁では、「今治の提案の方が、京都の提案よりも熟度が高いと判断した。」とのこと。「ヒアリングで提出された構想は、京都産業大学が21頁、加計学園が2頁。」と聞いています。今治の提案ってそんなにすごかったのでしょうか。熟度ってどんな基準だったの

でしょうか。

結局、国会や世間から批判されながらも、やはり、うやむやにされてしまいそうな雰囲気。卒業生としては、母校に「もうちょっとがんばってみてもいいんじゃない?」「本当は言いたいことがあるんでしょ?」と言いたいところですが、若干の物足りなさを感じながらも、「四の五の言わず、早々に獣医学部新設断念を発表した母校が、大人の対応をとった。」ということなんでしょう。

宮崎にも加計グループの大学がありますし、この話題はこのあたりにしておきましょう。本年が、学術関係やスポーツ関係その他、様々な分野で、母校にとってよいニュースに触れることができる1年になるといいですね。

ラグビーでは、大畑大介選手や田中史朗(ふみあき)選手など、ワールドカップで活躍する日本代表選手を輩出してきましたが、野球では、昨年、オリックス・バファローズの抑えのエース、平野佳寿(よしひさ)投手が、京都産業大学から初めてのWBC選出。そしてWBCでの快投。この原稿作成時には、まだ確定していませんが、今年は本学から初めての大リーガー誕生が期待されます。

2018年はどんな年になるのでしょうか。平成もあと1年4か月。ワールドカップのサッカーがあり、夏の甲子園大会が百回を迎えるとのこと。いずれにしても、本年がみなさんにとって、夢と希望に満ち、健康で、よき年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

平野投手、メジャーでがんばって

昨年のWBCでは、代表メンバーに平野佳寿投手が選出されました。京都産業大学からは初めての選出でした。2月のオリックスキャンプに行くと、ブルペンに入れてもらい、しかも我々のすぐそばで投げてくださいました。平野投手の速球がミットにおさまった時のすばらしい音。みなさんにも聞かせてあげたかったです。ちょうど、小久

保監督と権藤投手コーチが来ていて、平野投手のピッチングをじっくり見ていたが、お二人とも笑顔。平野投手に対する期待の大きさを感じることができました。

まず、2月末の宮崎で行われ



WBCキューバ戦の熱投

た対ソフトバンク戦では、7回に登板し、三者凡退に抑えてくれました。スタンドから見ていましたが、ついつい平野投手の登板は9回と思い込んでいたので、7回登板でびっくりしました。

本番で、すばらしい活躍をしてきましたが、プールE第2戦のキューバ戦では、5回表に登板した平野投手が打者3人を無失点に抑えました。

雨中の戦いとなった準決勝のアメリカ戦では、9回にワンポイント登板。アメリカの4番バッター、2年連続メジャー2冠王のノーラン・アレナド選手を三振に切っており、WBC最後の登板となりました。

帰国後の2017年のシーズンは、3勝7敗29セーブ、防御率2.67。しかし、

シーズン後半は打たれることが多く、平野投手としては、100%満足のいくシーズンではなかったかもしれません。

平野投手には、2015年春の宮崎キャンプ以来、宮崎県支部総会の2次会に参加いただいたりしました。2017年春の宮崎キャンプの際には、メジャーに対する思いを口にされていました。

宮崎で会えなくなるのは残念ではありますが、平野投手のFAによるメジャー行きが報道されていることは素直にうれしく思います。この原稿作成時では、カージナルスなどの名前があがっています。どのチームに行くのか確定していませんが、平野投手のメジャーでのご活躍を心からお祈りしています。

九州のほかの支部では

鹿児島県支部ってこんな感じです

昨年10月1日(日)、京都産業大学同窓会鹿児島県支部総会に出席してきました。当日は、晴れて、桜島がきれいでした。

鹿児島中央駅に着くと、いつも思うのが、「新幹線があつていいな。」「JRのビル、アミュプラザがにぎやかでいいな。」ついつい宮崎と比較してしまいます。

鹿児島中央駅から、天文館に向かって少し歩くと甲突(こうづき)川。平成5年の豪雨災害を思い出します。川を渡る橋のそばの

大久保利通像を見ながら歩くと久しぶりの天文館。そして会場のHOTEL &



大城学長あいさつ

RESIDENCE 南州館へ。最近の鹿児島県支部総会は、いつもこの南州館で開催されています。南州というのは、宮崎ではなじみがありませんが、南の島とか南国という意味で、西郷さんが西郷南州という名前を使っていたことがあり、鹿児島では南州という店や会社などが多数あります。

総会では、同窓会の三澤副会長があいさつ。初めての鹿児島県支部総会出席であること、同窓会の役員選挙の改革などのお話がありました。あいさつの後、役員改選があり、宮崎県支部にも何度か来たことがあ

る、そのユニークなお人柄(単なる変わり種?)で全国で一番有名、かつ超酒豪の支部長が再任されました。

その後は、大城学長による講演があり、ロースクール廃止や現代社会学部新設、ラグビー部やバスケットボール部に留学生を入れること、そして獣医学部新設は断熱せざるを得なかったことなどのお話がありました。

総会後には、懇親会。隣に座った方が、沖永良部島から飛行機で来られたとのこと。「あれ、沖永良部って、西郷さんが島流しにあったところですよ。」とお尋ねすると、「そうそう。」西郷さんは、薩摩藩主、島津久光公の怒りにふれ、薩摩藩の重罪人として、最初は徳之島に島流しされ、そこで2か月を過ごした後、沖永良部島に流されて、1年半を過ごし、この地で牢居中に、あの天を敬い人を愛するという「敬天愛人」の思想を生んだといわれています。

西郷さんは、西南戦争で政府軍との攻防に破れ、現在の宮崎県延岡市北川町付近を敗走したあと、薩摩に戻り、自決しました。今年のNHK大河ドラマ、「西郷(せご)どん」が楽しみです。

毎回、懇親会の料理は、写真のような熊襲(くまそ)鍋。鍋の後は、デザートとしてしろうくま。おいしい郷土料理をいただきながら、鹿児島県支部の方々と交流を深めることができました。



熊襲鍋